

【東京都江戸東京博物館(分館:江戸東京たてももの園)】指定管理者提案書類(事業計画書) 概要

1. 管理運営の基本方針

■基本方針

・資料・展示・教育・運営・研究・交流の6つの事業を柱として、祝祭空間の創出を目指す



■館の機能の総合的な発揮

・博物館としての総合力を十二分に発揮  
 <人> マネージメント能力のある管理職、専門性を具現化できる学芸員等を適材適所に配置  
 <もの> 59万点の江戸博コレクションと30棟の復元建造物を活用、海外の博物館に向けた「出開帳」の実施  
 <場> 展示室での資料公開の他、ホール、図書室、会議室等、様々な施設設備を効果的に活用した事業展開

■東京文化ビジョンの実現に向けた取組

文化戦略1 江戸東京400年の歴史と文化、歴史的建造物の魅力を幅広く発信	文化戦略3 楽しく学べるツールを開発し、子供、高齢者、外国人、障害者等の鑑賞をサポート
文化戦略2 外国人向けの体験・鑑賞プログラム実施 本館は両国・深川地域、分館は多摩地域の拠点としてネットワーク形成と連携	文化戦略5 北京、瀋陽、ソウルの都市博物館との交流、東京都の友好都市との文化交流事業の実施

■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた運営戦略と取組

・「祝祭空間」の創出 ・高品質のサービス提供  
 ・「カルチュラル・オリンピアド」に基づき、粋で洒落ていどり豊かな事業を展開

《取組例》

〈本館・分館共通〉おもてなしプロジェクト  
 ・多言語化、ユニバーサルデザインの徹底  
 ・江戸東京の歴史と文化を伝えるボランティア養成

多言語解説パネル



昔暮らし体験 石臼挽き

〈本館〉  
 ・東京から世界へ向けた文化の祭典を開催、オリンピック機運の醸成  
 ・多くの外国人が東京を訪れる機会に「江戸文化」に焦点を当てた展覧会  
 ・海外の姉妹友好都市との交流展の実施など

〈分館〉  
 ・子供向けに実施している「昔暮らし体験」を外国人向けにアレンジ  
 ・外国語対応ボランティアの募集と育成

■国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)

海外	北京、瀋陽、ソウルの博物館との国際シンポジウム、学芸員の相互派遣、欧米美術館・博物館との交流展覧会、国際博物館会議(ICOM)等への参加	地域	両国・深川:近隣施設とネットワーク形成、「両国協力会」として街づくりに貢献 多摩:多摩地域の活性化、回遊性を高める取組を推進
国内	全国歴史民俗系博物館協議会の事務局館として、全国の博物館の相互連携を推進	財団内	コレクション活用、公演事業実施の場を提供、分野を横断する企画発信
都内	東京都博物館協議会に参画		

2. 事業に関する業務

■資料の収集

・厳選した収集によりコレクションのさらなる充実を図る  
 ・都民の財産として大切に保管し、積極的に活用

■資料の分類整理、記録及び保管等

〈本館〉資料を適切に保管、分類整理・記録し、都民共有の文化遺産として後世に継承  
 〈分館〉野外収蔵建造物を保存しつつ多くの来園者に体感してもらうため、適切に記録、管理、補修等を実施

■資料等に関する情報提供

・インターネットで資料公開:江戸東京文化の価値を広く発信  
 ・図書室:江戸東京の専門図書館であり、総合窓口にもなる  
 ・映像ライブラリー・ホール:映像により都民の学習を支援

■調査研究

・都市歴史研究室:国内外の文化施設、大学、企業等と連携しながら調査研究・教育普及・研修を実施  
 ・成果の還元:常設展、特別展、教育普及事業、出版物等

■展覧会 ・江戸東京の歴史と文化を都民や世界へ発信

- ①常設展:所蔵資料を複製・模型や体験ツールと交えて展示、ICTを活用した多言語解説を整備
- ②特別展:「3T戦略」時宜にかなない(Timeliness)、対象を明確にした(Target)、目玉資料のある(Top of sales point)展示
- ③〈分館〉野外建造物、情景再現、体験型の展示や催事

■教育普及活動

・誰もが楽しく学べるよう、家族、学校、外国人、障害者、高齢者など対象を細かく設定

■その他の事業

・講演会、伝統芸能実演、季節感の演出、地域や国内外の博物館との交流、施設活用(写真・映像撮影)等

■人材の育成

・学芸員実習、インターン、中学生の職場体験、ボランティア育成、都職員の研修、国内外の博物館との人事交流等

■館の事業を支える仕組み

○広報:〈本館〉マスコミと連携し特別展を大規模に広報  
 〈分館〉野外博物館の魅力の発信、地域密着の広報

○友の会:会員を本館・分館のファンの中核と位置づけ、会員と相互に協力しながら来館者層の確保・拡大を図る

○ボランティア:市民参画による博物館運営を目指す  
 ・解説活動や体験・催事の支援を実施

○外部意見等:専門家や一般来館者の意見を取り入れ反映

○ニーズの把握:顧客満足度調査・非利用者調査の実施

○外部資金の導入:協賛金の獲得、企業との連携、旅行代理店と連携し団体客誘致、撮影等への施設活用の推進

3. 館の運営に関する業務

■休館日及び開館時間

・混雑時等は柔軟に対応  
 ・イベント等に合わせた臨時開館・夜間開館を実施

■施設及び付帯設備貸出し

〈本館〉ホール、会議室、学習室の積極的な貸出し  
 〈分館〉「東京ロケーションボックス」に協力し撮影場所として提供

■館内サービス

・学校団体や年配者等の利用者目線に立ったサービス  
 ・館内のほか、近隣の観光・交通案内も実施  
 ・来館者の満足度アップのため、多言語対応、電子マネー対応、福祉車両のアクセス確保、救護室の充実等へ取り組む  
 ・思い出づくりに貢献するショップ・レストラン・カフェの運営  
 ・お客様からの意見・苦情への迅速な対応

4. 組織及び人材

・学問的専門性や運営に必要な知識と多くの実務経験を有する職員を適材適所に配置  
 ・館の使命を自覚し、江戸東京の歴史と文化を発信できる職員を育成。各種研修により事務処理能力、専門能力、経営上のバランス感覚の向上を図る

5. 館の管理その他に関する業務

■館の管理

○施設等の管理業務:幅広い年齢層の施設利用者に快適性・安全性・利便性を確保する維持管理

○危機管理:災害対応力を備え、来館者・職員の生命及び後世に継承させていくべき文化資源を守る

- ・お客様の安全確保:危機管理マニュアルに基づく対応、テロ等の人的災害への対策
  - ・展示品・収蔵品:安全な展示・収蔵、盗難対策
  - ・大規模災害発生時:帰宅困難者の一時滞在施設、全国歴史民俗系博物館協議会の事務局としての災害時連携
- 〈分館〉収蔵建造物を自然災害等から守るため、台風・豪雨・積雪・虫害対策の実施

■地域等との連携の取組

〈本館〉両国協力会の一員として地域の活性化や文化的魅力の発信、観光に貢献  
 ・地域産業振興に資する広報PR、「両国にぎわい祭」参加、区や近隣施設と連携し観光導線の確立に貢献  
 〈分館〉地域や大学と協働し、多摩の魅力向上、若い世代の博物館参加機会の創出、地域文化の伝承、産業振興等に貢献